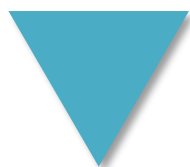


なるみず 2025



鳴水校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

～子どもから年長者まで～
ふれあいのある街づくり



2029

ごあいさつ

鳴水校区社会福祉協議会は、平成 13 年に設立され住民の皆様の助け合いによって明るく住みよいまちづくりに努め、地域福祉の推進を図るために活動してまいりました。以来、校区の皆様には、社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

この度、八幡西区社会福祉協議会のご支援をいただき、わがまちのふくしのまちづくり計画「小地域福祉活動計画」について策定委員会で話し合い計画書を作成しました。改めて、まちの良いところや課題を洗い出して、これまでの活動や行事を見直し活動を継続するのか、新しい活動が必要なのかを共有しました。そして、5年後の鳴水のまちをイメージして、「～子どもから年長者まで～ふれあいのある街づくり」を基本理念に掲げ、次の二つの重点実施項目を決定しました。

○生活の困りごとを気軽に話せて助け合うしくみをつくろう

○子どもをまんなかにして若い人とつながろう

今後5年間でこの計画に基づき、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまち」をつくるために活動を行ってまいります。地域の皆様には、ぜひ活動にご参加いただきご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和 7(2025)年 3 月



鳴水校区社会福祉協議会
会長 向井 浩義

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 鳴水校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 目標とする事業（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、鳴水校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、鳴水校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 鳴水校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和7(2025)年度～令和11(2029)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

鳴水校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、鳴水校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、鳴水校区「小地域福祉活動計画」を策定しました。



第7回計画策定委員会

第2章 鳴水校区の現状と課題

1 地域の特性

住民基本台帳による

	平成 6(1994)年 9 月 30 日	平成 21(2009)年 9 月 30 日	令和 6 年(2024)年 9 月 30 日
世帯数	2,635 世帯	2,838 世帯	3,027 世帯
人口	6,144 人	5,808 人	5,572 人
14 歳以下	815 人(13.3%)	742 人(12.5%)	613 人(11.0%)
65 歳以上	1,024 人(16.7%)	1,507 人(25.9%)	1,591 人(28.6%)

小学校	鳴水小学校	活動拠点	鳴水市民センター
中学校	黒崎中学校	包括支援センター	八幡西 4

鳴水校区は昭和 30 年代に筑豊電鉄の開通と高度経済成長により黒崎商店街と共に発展しました。その南側は山手に広がる住宅地域があり坂の多い地域です。

校区周辺には主要道の 3 号線や 200 号線が走り、JR 九州や筑豊電鉄、西鉄バス、小中学校、八幡西警察署、各種病院、イオンタウン等の商業施設があり生活の利便性はよい地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●近隣に商業施設はあり利便性はよい

黒崎地区や熊西校区の近隣住民は多くの商業施設を有し利便性が良く大変住みやすい環境ですが、車を使用できない高齢者にとっては少々距離があります。

JR 駅周辺の環境が大きく変わり世帯は増えていますが、高齢化率は上昇し、一人暮らし世帯の増加や空き家問題も地域課題として顕在化しています。

●生活の困りごとを気軽に話せる場が少ない

生活の困りごとや悩み等を相談する場が減っています。住民のちょっとした生活上の困りごとや悩みなどは福祉協力員や近隣の方が個人的に対応しているのが現状です。ちょっとした困りごとや悩みを気軽に相談したり、頼んだりしたりできるしくみづくりが必要になっています。

●ボランティアやリーダー等の人材不足

地域の祭りや行事にはたくさんの方が参加され活況を呈しています。しかし、イベントを支えるボランティアが高齢化傾向にあります。また、自治区会や子ども会等の加入率も年々下がっているのが現状です。

人材不足解消やイベントへの参加者の増加には、取組みの工夫と柔軟さが必要になります。

第3章

計画体系

鳴水校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念、基本目標、主な取組み、重点実施項目を定めました。

1 基本理念

「～子どもから年長者まで～ふれあいのある街づくり」

だれもが安心して心穏やかに暮らせる、ふれあい豊かな街づくりを目指します。

2 基本目標

(1) 一人じゃないよ つながろう 地域交流のWA!!

鳴水校区では市民センターや地域内の各所で交流事業がさかんに行われています。様々な講座やクラブ活動も数多く開催され大変好評です。

今後はコロナ禍で中断・縮小した取組みを様々な工夫で復活していこうと考えています。今まで参加できなかった方も、みんなで一緒に活動することで住民同士の交流の輪を広げ元気な地域にしていきます。

(2) おとなりさんお元気ですか？ 安心して住めるまち・鳴水

現在は、福祉協力員が民生委員・児童委員と協力し、高齢者の見守り活動を行っています。また、個人の協力者による登下校時の小学生の見守り活動も活発です。今後は訪問して声かけを行うだけでなく、交流の場を増やしながら近所の住民同士でお互いに見守り合い、気になることがあればつなぐ地域づくりを進めます。

(3) ボランティアって楽しいよ！ 未来のリーダーをさ・が・せ!!

様々なボランティアの形を提案することで担い手を掘り起こしていきます。誰もができるときにできることで協力し助け合って地域友好の輪を広げていきます。そして、地域の未来を担う世代に楽しく活動を続けてもらえるよう工夫します。



3 目標とする事業（体系図）

【基本理念】	基本目標	主な取組み
子どもから年長者までふれあいのある街づくり	一人じゃないよ つながろう 地域交流の WA!!	◇サロン活動【鳴水、岩田、平尾、八千代】（社協） ◇門松づくり（まち協） ◇子ども食堂（岩田公園いこいの家） ◇子育てフリースペース「なるっこルーム」 （市民センター、子育てサポーター） ◇サマーフェスタ（まち協、市民センター） ◇やまつばき（市社協の通所事業） ◇鳴水市民センターまつり ◇三世代交流（社協） ◇行政とのつなぎ（民児協） ◇道路サポーター（まち協） ◇撥川清掃（自治区会） ◇ホテル育成 （黒崎中学校、ラブリバー撥川ネットワーク）
	おとなりさん お元気ですか？ 安心して住める まち・鳴水	◇高齢者等見守り訪問活動（社協、民児協） ◇子ども見守り活動 ◇助け合い活動【ゴミ出し、買い物等】（社協、民児協） ◇「お元気ですか？」の配付（社協） ◇一人暮らし高齢者への年賀状 （社協、鳴水小学校、インクル八千代） ◇75 歳以上一人暮らし懇親会（社協） ◇広報紙「なるみず」発行（社協） ◇赤い羽根、歳末助け合い運動（社協、自治区会） ◇防犯パトロール（まち協、自治区会） ◇歳末火の用心（自治区会、児童） ◇健康チェックフェア（まち協、市民センター） ◇交通・防犯講話（八幡西警察署）
	ボランティアって 楽しいよ！ 未来のリーダーを さがせ!!	◇話し合い活動【連絡調整会議】（社協） ◇ワンコイン交流会（社協） ◇バス研修（社協、まち協） ◇民生委員・児童委員、福祉協力員研修会（社協、民児協） ◇夏休みラジオ体操（まち協） ◇子ども菜園事業（まち協、市民センター） ◇子どものバンコ作り（まち協、市民センター） ◇もちつき大会（まち協） ◇健康ウォーキング（まち協、市民センター） ◇防災訓練 ◇地域フィールドワーク（黒崎中学校）

※社協：鳴水校区社会福祉協議会、まち協：鳴水まちづくり協議会、自治区会：鳴水校区自治区会
民児協：鳴水地区民生委員児童委員協議会、市民センター：鳴水市民センター

4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していきます。

重点実施項目①		生活の困りごとを気軽に話せて助け合うしくみをつくろう						
1 課題背景及び地域の現状								
● 交通の便がよく買い物や通院もしやすい上、市民センターを中心とした地域行事も活発 ● 高齢化率はまだ 30%を超えていないが、一人暮らしの高齢者や認知症の人が心配 ● 共働き世帯、子育て世帯が多く、子どもの居場所（遊び場）づくりや子育ての悩みがある ● 空き家が目立つ地域や、坂道が多く外出しづらい地域がある								
2 活動の方針・目標								
・ サロン活動を充実させ、誰もが気軽に集い、困りごとを話せるような場をつくります ・ 「ふくし(ふだんのくらしのしあわせ)」の実現に向けて、みんなで考え学び合う場をつくります ・ 困りごとを把握するしくみや、困りごとの解決において住民同士助け合うしくみをつくります ・ 将来に備え、買い物や通院などお出かけしづらい人を支えるしくみについてみんなで考えます								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容		連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考
助け合いのしくみ	困りごとの把握/ 聞き取りやアンケート	民児協						どんなことに困っているか、 困りそうか、有料でも利用した いか等
	他校(地)区の助け合 い活動から学ぶ	八幡西区社協						他の校(地)区を見学したり、 話を聴いたりして共有する機会 をつくる
	アンケートの報告会 助け合い研修会	まち協・自治区会 市民センター						地域全体に知ってもらう場を つくる
	仮)ちょこっとお助け隊 の検討	まち協・自治区会						鳴水ならではのしくみについて みんなで話し合い、次の計画 につなぐ
サロンの充実	サロンの充実・拡大 ①鳴水 ②岩田 ③平尾 ④八千代	インクル八千代						歌声サロン、お茶会、おしゃべ り会、健康づくり、ガーデニン グ、多世代交流等、拡充のため のアイデアを出し合う
	サロン見学会 研修会	八幡西区社協 他校(地)区社協						他の校(地)区サロンの見学や 情報交換等
	サロンサポーターの 募集・登録	まち協・自治区会 明寿会 市民センター	検討					サロンのお手伝いをしてくれ る人、特技を活かしたいという 人等
	困りごとおしゃべり会 困りごと相談会	民児協 黒崎交番						ふだん困っていることを聞き合 ったり、必要に応じて関係機関 につないでいる
多世代が学び合う場	認知症の人との 接し方	まち協 市民センター			年1回程度			基礎編・応用編・搜索訓練 地域行事との合同開催等
	障害のある人との 接し方	まち協 市民センター インクル八千代			年1回程度			様々な障害特性について学ぶ 場や、当事者の方との交流の 場等
	スマホの使い方	民児協 地域の学生	準備					便利で安心な使い方を教え合 う場
	小・中学生向け ふくしの学習会	小・中学校 まち協 主任児童委員	現状 調査					地域の人をゲストティーチャー に
	防災・防犯に ついて	まち協・市民防災会 黒崎交番・消防署 少年補導員			適宜開催			講座や模擬訓練等

重点実施項目②		子どもをまんなかにして若い人とつながろう					
1 課題背景及び地域の現状							
● 素直で明るい小・中学生がよく挨拶をしてくれ、公園で元気に遊ぶ姿が見られる ● “バンコ”という鳴水ならではの地域資源がある ● 若い世代(30 歳から 40 歳くらい)ともっと仲良くなりたい ● 保護者世代の交流の場を増やし、地域に関心をもってもらいたい ● 車の通行が多い地域の登下校時や、放課後の子どもたちのようすを見守りたい							
2 活動の方針・目標							
・ 子どもをまんなかに、地域の活性化を図ります ・ 子どもをまんなかに、世代を超えて交流します ・ 子どもをまんなかに、親世代が活躍できる場をつくります ・ SNS (LINE オープンチャット等)を活用して新たな担い手を増やし、若い人たちともつながります							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考
◎三世代交流のためのチーム作りをしよう							
あいさつ・見守り チーム	まち協 自治区会						あいさつで地域を盛り上げよう すべての住民対象
行事チーム	市民センター 民児協						期間限定のもちつきや山笠等 学習会や交流会
健康チーム	保育所・園 インクルハ千代						ラジオ体操(朝・夏休み)や ウォーキング等
防災・防犯チーム	警察署 消防署						訓練やパトロール等
広報チーム (各チームと連携)	各行事実行委員会 防災会						SNS (LINE 等)の活用
◎小・中学生のニーズを知ろう							
アンケート等による 調査	小・中学校 青少年育成会	準備					小・中学生の実態を把握する
こども会議	社協役員会 市民センター	準備					様々な行事に子どもたちの意見も取り入れる 小・中・高校生に参加してもらい、地域の つながりについて学んでもらう
◎保護者への働きかけをしよう							
アンケート等による 調査	自治区会	準備					保護者の意見を集約し行事等 に生かす
ボランティアの募集	市民センター 小・中学校 保育所・園 インクルハ千代						行事ごとにちょっとした手伝い ができる人を、具体的な活動内 容を示して、SNSも活用しなが ら広く募集する
親子行事の充実	子育てサポーター	現状 調査	準備				親子で参加できる行事を充実 し情報発信する

第4章

計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、「鳴水校区小地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

「鳴水校区小地域福祉活動計画推進委員会」を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点(2027年度)では計画全体の間見直しを、最終年度(2029年度)には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



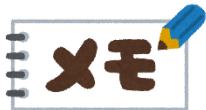
参考資料 【鳴水校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 鳴水校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏 名	所属団体	役 職
1	向井 浩義	鳴水校区社会福祉協議会	会長
2	竹山 公子	鳴水校区社会福祉協議会	副会長
3	平山 祿祐	黒崎第3自治区会	会長
4	松永 富士雄	黒崎第5自治区会	会長
5	徳永 恣	黒崎第6自治区会	会長
6	藤嶋 雅生	鳴水校区社会福祉協議会	事務局長
7	松井 千恵美	八幡西警察署少年補導員	
8	濱田 廣美	鳴水まちづくり協議会	会計
9	熊谷 晴美	鳴水まちづくり協議会	監査
10	岩本 智子	子育てサポーター	リーダー
11	菊竹 洋子	鳴水校区社会福祉協議会	広報部長
12	沖野 さつき	鳴水地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員
13	木村 健一	鳴水校区社会福祉協議会	相談役
14	中山 紀久江	鳴水校区社会福祉協議会	会計
15	山下 恵子	鳴水地区民生委員児童委員協議会	会長
16	八尋 美穂	鳴水まちづくり協議会	事務局長
17	安部 典子	鳴水地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員
18	櫻井 美佳	北九州市少年補導委員	
19	檜原 美智子	鳴水地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員
20	中林 浩治	鳴水校区青少年育成会	会長
21	土谷 信子	鳴水校区社会福祉協議会	社協役員・福祉協力員5班
22	崎山 久美	鳴水校区社会福祉協議会	社協役員・福祉協力員2班
23	中村 静子	鳴水校区社会福祉協議会	福祉協力員3班
24	河野 和子	鳴水校区社会福祉協議会	福祉協力員5班
25	石津 成美	鳴水校区社会福祉協議会	福祉協力員7班
26	稲葉 太賀男	社協役員・福祉協力員8班	
27	吉岡 ツタエ	明寿会	会長
28	末次 功	八幡西警察署少年補導員	
29	宮本 英機	鳴水校区社会福祉協議会	理事
30	本田 ひとみ	鳴水市民センター	館長
31	宮基 章弘	黒崎中学校	校長
32	山口 正徳	鳴水小学校	校長
33	石本 由紀恵	黒崎保育所	所長
34	山部 進子	鳴水保育園	園長
35	奥村 安徳	インクル八千代	事業所長
36	上田 静也	黒崎交番	所長

2 鳴水校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
	R6 年 3 月 4 日 (月)	計画策定における説明会
1	R6 年 7 月 23 日 (火)	(全体会) 地域の困りごと課題を共有する
2	R6 年 8 月 5 日 (月)	(小委員会) 既存活動の洗い出し、内容を体系的に整理
3	R6 年 9 月 10 日 (火)	(全体会) 基本計画 (体系図) について全員でチェック
4	R6 年 10 月 1 日 (火)	(小委員会) 重点実施項目について話し合い
5	R6 年 10 月 29 日 (火)	(全体会) 重点実施項目の実施計画づくり
6	R6 年 11 月 25 日 (月)	(小委員会) 重点実施項目の実施計画づくり 計画書・概要版の編集作業
7	R6 年 12 月 10 日 (火)	(全体会) 重点実施項目の実施計画づくり 計画書・概要版の編集作業
8	R7 年 1 月 6 日 (月)	(小委員会) 計画書・概要版の最終確認





社会福祉協議会のイメージキャラクター プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



鳴水校区社会福祉協議会

〒806-0051 北九州市八幡西区東鳴水 2-4-16 鳴水市民センター内
TEL 093-621-3085 FAX 093-621-3086

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6 階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

